

新春  
特別展

# 「箱根神社神像群―信仰と歴史」を開催

重要文化財の『男神坐像』と『女神坐像』  
優美な舞姿で有名な鎌倉期の『女神立像』  
『箱根権現縁起絵巻』や『筥根山縁起』  
北条時宗・織田信長・豊臣秀吉等の書状

宝物殿



女神立像(鎌倉時代)



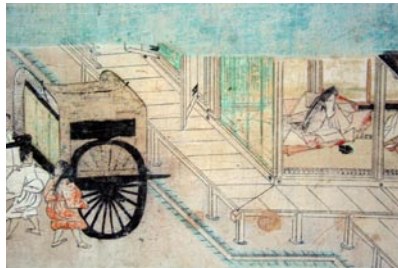
女神坐像(平安時代)



男神坐像(平安時代)



三神立像(鎌倉時代)



箱根権現縁起絵巻(鎌倉時代)

当神社は、奈良時代の天平宝字元年(七五七)に万巻上人が箱根山に入峰し、勅願により箱根三所権現の社殿を創建したことに始まります。

このことは、当神社の縁起『筥根山縁起并序』に詳しく記されていますが、この縁起の内容と一二六〇余年続く信仰の歴史と文化を裏付けるものが、『箱根神社神像群』と総称される平安から鎌倉期にかけての八軀の神像彫刻と平安初期の『万巻上人坐像』(重要文化財)や鎌倉期の『箱根権現縁起』(重要文化財)であります。

箱根信仰は中世から近世にかけて興隆した武家の守護神・誓約の神としての信仰や、東西交通の要衝に鎮座する社として旅人の守り神等々、様々な信仰を経重ねて今日に至っています。

さらに皇室とも御縁が深く、特に明治から昭和初期にかけて箱根に離宮が置かれると、明治天皇・大正天皇・昭和天皇をはじめ、多くの皇族の方々の御参

拝や御奉納が相次いで行われました。

今回の特別展では、箱根神社御鎮座一二六〇年の佳年を迎えるにあたり一〇〇〇年以上前から伝わる御神像の特別拝観をはじめ、その信仰と歴史にまつわる数々の貴重な宝物を特別公開します。

主な展示品には、箱根信仰の精華ともいえる重要文化財『男神坐像』『女神坐像』及び一〇年ぶりの公開となる『三神(男神・女神・僧形)立像』、稀有な舞姿で知られる『女神立像』等、平安から鎌倉期にかけての八軀の神像群。箱根信仰の原典たる『箱根権現縁起』や『箱根山縁起并序』。更には文化事業の一環として修復がなされた北条時宗をはじめ、織田信長や豊臣秀吉などの名だたる武将の書状。今般、初公開の有栖川宮熾仁親王と小松宮彰仁親王の書など皇室ゆかりの品も出陳しています。

氏子崇敬者の皆様には、このまたとない機会をお見逃しにならないよう、是非ともご来館下さいますようご案内いたします。

(開館時間は九時から十六時三十分。但し入場は十六時まで。)

(権禰宜 上岡芳隆)